

本アンケートは、普通科単位制として開校してから20年が経過した本校の今後の教育課程の編成・実施、生徒募集などの参考にするため、市内の小、中学校のご協力をいただき実施しました。

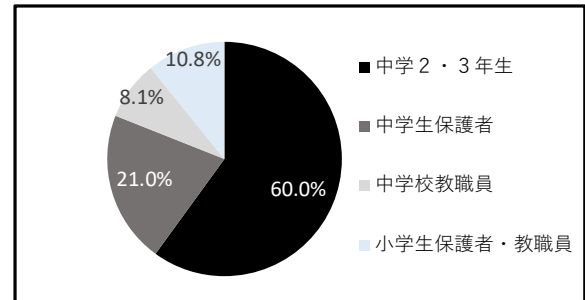
- 1 目的 今後の本校の教育課程の編成及び実施、生徒募集の参考とするために実施
- 2 実施時期 令和7年6月23日（月）～7月7日（月）
- 3 対象 砂川中学校（2・3年生生徒、全学年保護者、全教職員）及び市民（小学生の保護者と小学校教職員等）

1 回答者と回答数について

(1) 回答総数 295

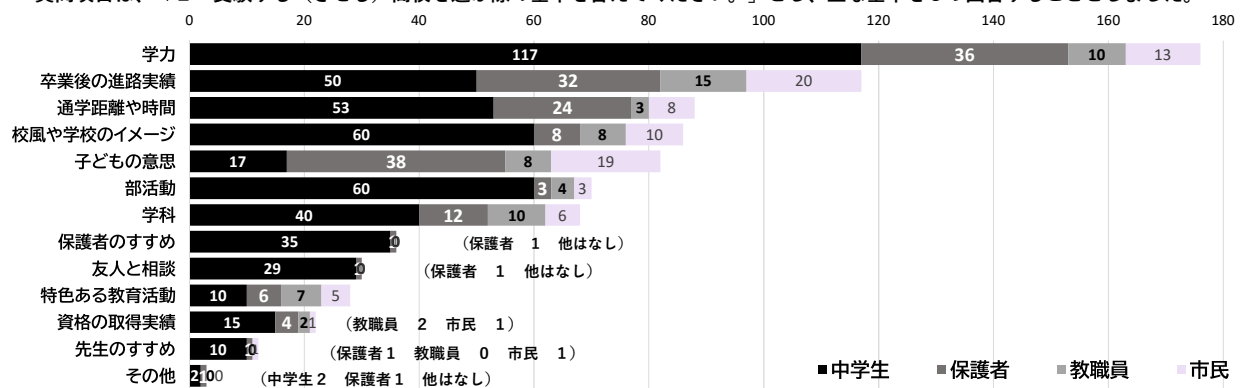
(2) 回答者別の回答数（割合）

ア 中学生（2・3年生）	177名
イ 中学生の保護者	62名
ウ 中学校の教職員	24名
エ 市民（小学生保護者と小学校教職員）	



2 受験する高校を選ぶ際の基準について

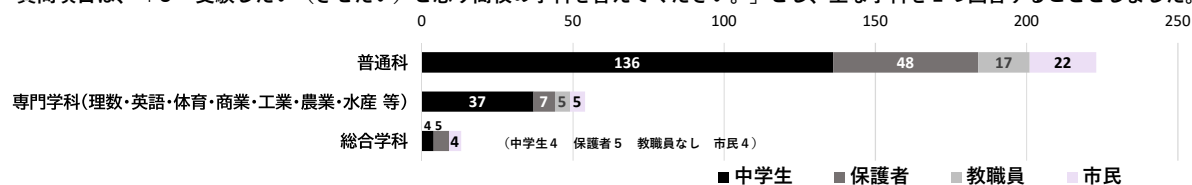
質問項目は、「2 受験する（させる）高校を選ぶ際の基準を教えてください。」とし、主な基準を3つ回答することとしました。



中学生は「学力」が最も多く（66.1%）、次が「部活動」「校風や学校のイメージ」の順、保護者は「子どもの意思」に次いで、「学力」（58.1%）「卒業後の進路実績」の順、教職員は「卒業後の進路実績」に次いで、「学科」と「学力」が多かった。中学生と保護者はともに「学力」が6割前後を占める回答（教職員は4割程度）。市民の回答は、「卒業後の進路実績」が最も多く、「子どもの意思」「学力」の順で、「学力」の回答は4割程度だった。

3 受験したい（させたい）学科について

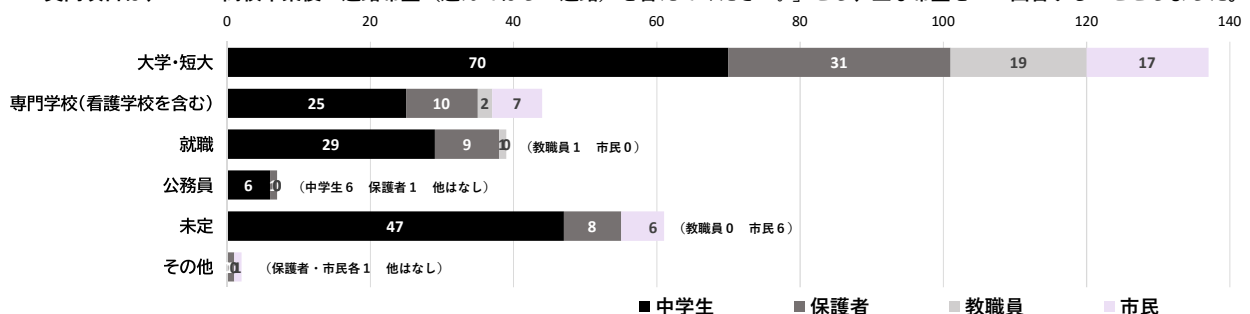
質問項目は、「3 受験したい（させたい）と思う高校の学科を教えてください。」とし、主な学科を1つ回答することとしました。



全ての回答層で「普通科」が多い。なお、中学生の82%、保護者の77.4%、教職員の70.8%、市民の68.8%が「普通科」を選択しており、いずれも高い回答率となっている。「総合学科」の回答が少ないのは、管内の総合学科は美瑛尚栄高校だけとなっていることが要因かもしれない。

4 高校卒業後の進路について

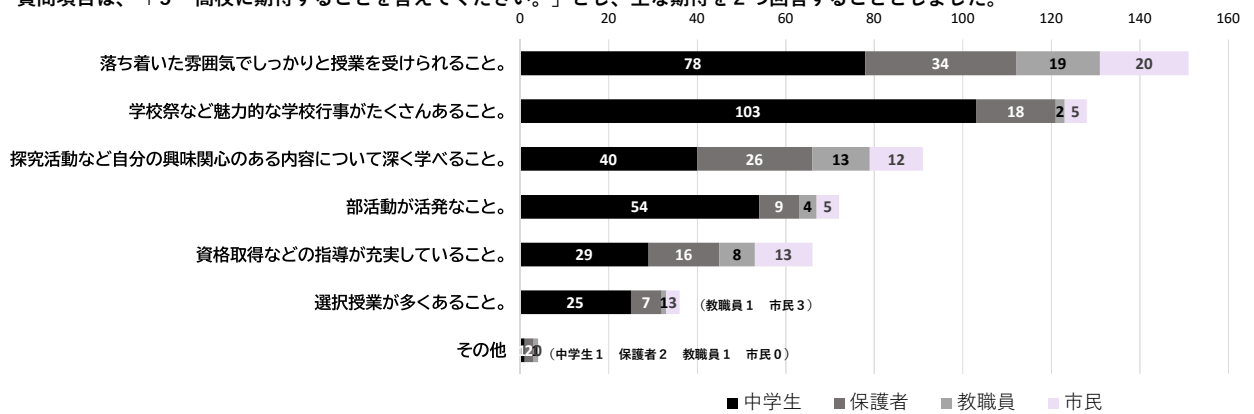
質問項目は、「4 高校卒業後の進路希望（進んでほしい進路）を教えてください。」とし、主な希望を1つ回答することとしました。



中学生は「大学・短大」の回答が最も多いが「未定」の回答が次に多く、高校卒業後の進路希望まで描き切れていない傾向が見られる。保護者は「大学・短大」「専門学校」「未定」の順。教職員は「大学・短大」「専門学校」「就職」の順となっており、「公務員」は中学生6人と保護者1名が回答していた。

5 高校への期待について

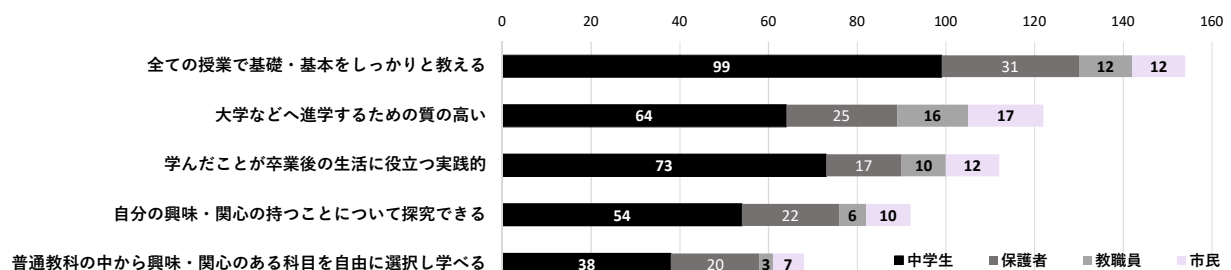
質問項目は、「5 高校に期待することを答えてください。」とし、主な期待を2つ回答することとしました。



中学生は「学校祭など魅力的な行事～」が最も多く、次に「落ち着いた雰囲気授業～」 「部活動が活発～」の順。保護者は「落ち着いた雰囲気授業～」が多く、次に探究活動など自分の興味関心のある内容～」 「学校祭など魅力的な行事」の順。教職員は「落ち着いた雰囲気授業～」が多く、次に「探究活動など自分の興味関心のある内容～」の順となっている。「選択授業が多くある～」の回答はいずれの回答層においても少なかった。

6 普通科高校への期待について

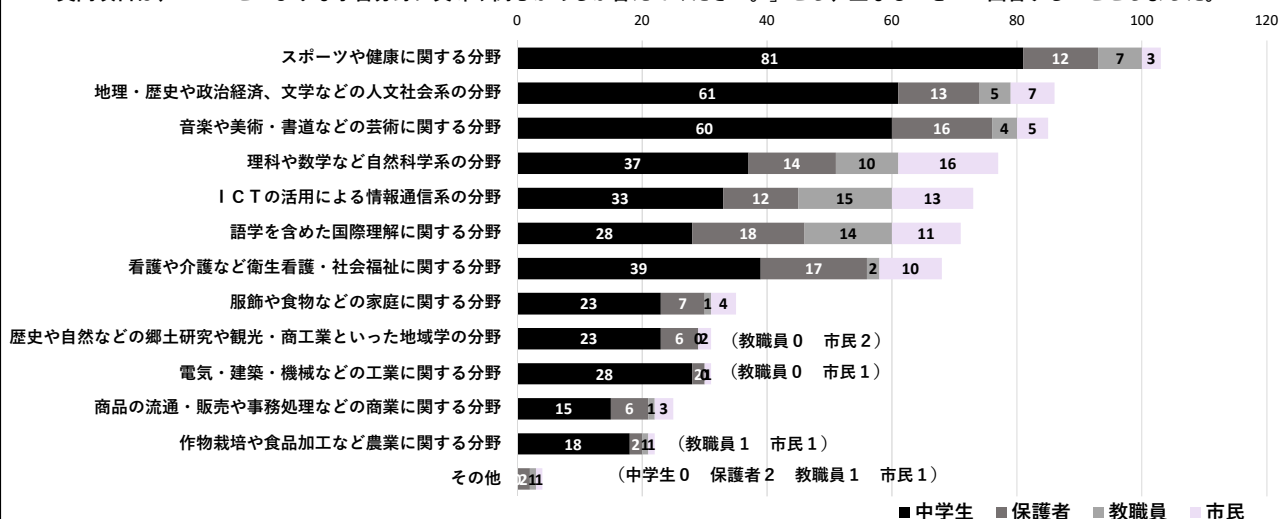
質問項目は、「6 普通科高校に期待することを答えてください。」とし、主な期待を2つ回答することとしました。



中学生は「全ての授業で基礎・基本を～」が多く、次に「学んだことが卒業後の生活に役立つ～」 「大学などへ進学するための質の高い～」の順。保護者も「全ての授業で基礎・基本を～」が多いが、次が「大学などへ進学するための質の高い～」 「自分の興味・関心の持つことについて探究～」の順となった。なお「興味・関心のある科目を自由に選択～」は選択肢中、最も回答が少なかった。

7 興味や関心のある学習について

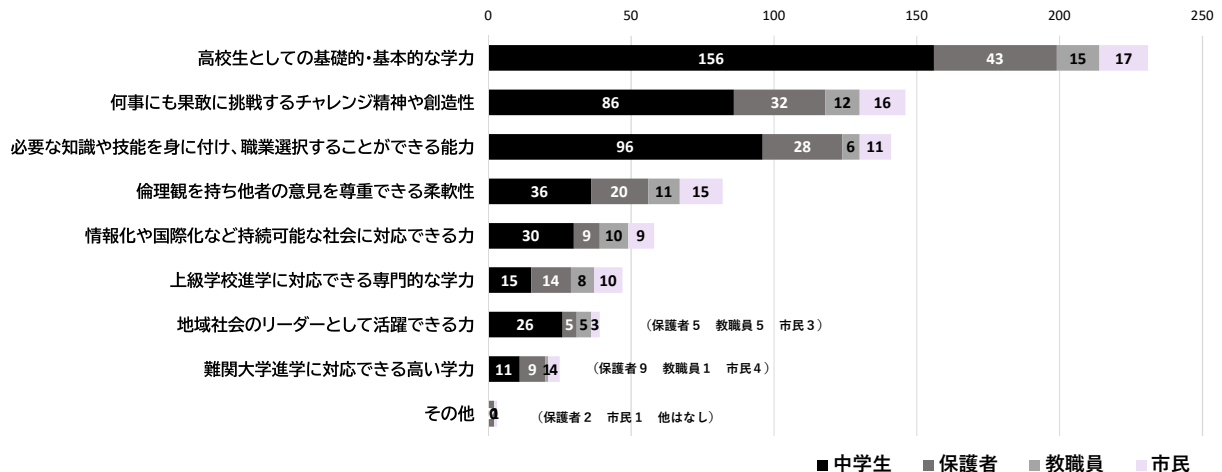
質問項目は、「7 どのような学習分野に興味や関心があるか答えてください。」とし、主なものを3つ回答することとしました。



中学生は「スポーツや健康に関する分野」が多く、次に「地理・歴史や政治経済、文学などの人文社会系分野」「音楽や美術、書道などの芸術に関する分野」がほぼ同程度。保護者は「語学を含めた国際理解に関する分野」と「看護や介護など衛生看護・社会福祉に関する分野」が同程度多く、次に「音楽や美術、書道などの芸術に関する分野」が多い。教職員は「I C Tの活用による情報通信系分野」と「語学を含めた国際理解に関する分野」が同程度で多く、次に「理科や数学など自然科学系の分野」、市民は「理科や数学など自然科学系の分野」が多く、以下「I C Tの活用による情報通信系分野」「看護や介護など衛生看護・社会福祉に関する分野」の順。保護者や教職員を多く含む層と生徒とでは傾向が大きく異なり、前者は将来の職業選択や就職につながる学習分野、後者は興味関心のある学習分野の回答数が多い傾向が見られる。

8 高校で身に付けたいことについて

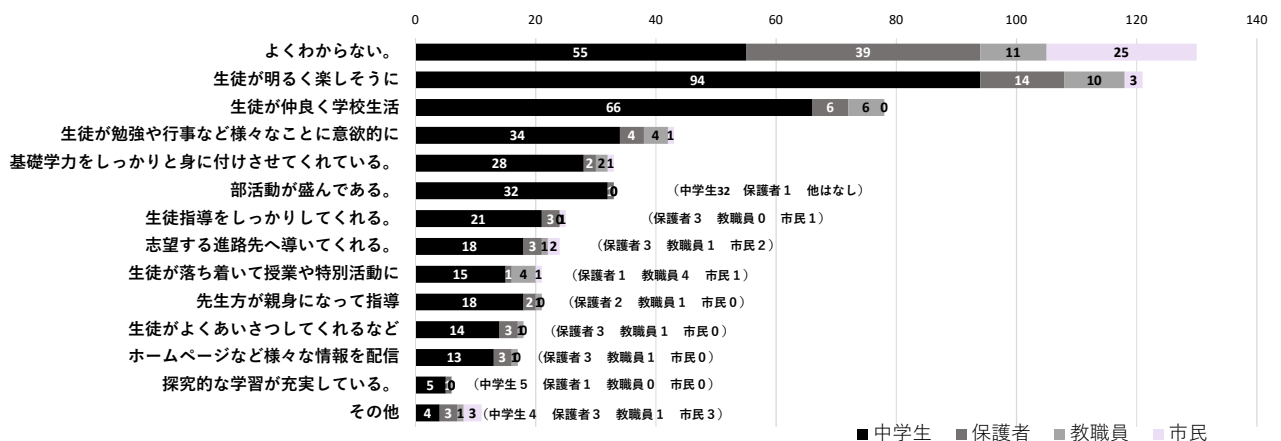
質問項目は、「8 高校で身に付けたい（身に付けてほしい）を教えてください。」とし、主なものを3つ回答することとしました。



中学生は「高校生として基礎的・基本的な学力」「職業選択することができる能力」「チャレンジ精神や創造性」の順。保護者も「高校生として基礎的・基本的な学力」が最も多く、以下「チャレンジ精神や創造性」「職業選択することができる能力」の順で、上位3回答は中学生と同じ傾向。なお、「上級学校進学に対応できる学力」「難関大学進学に対応できる学力」の回答数はいずれも少なかった。

9 砂川高校のイメージについて

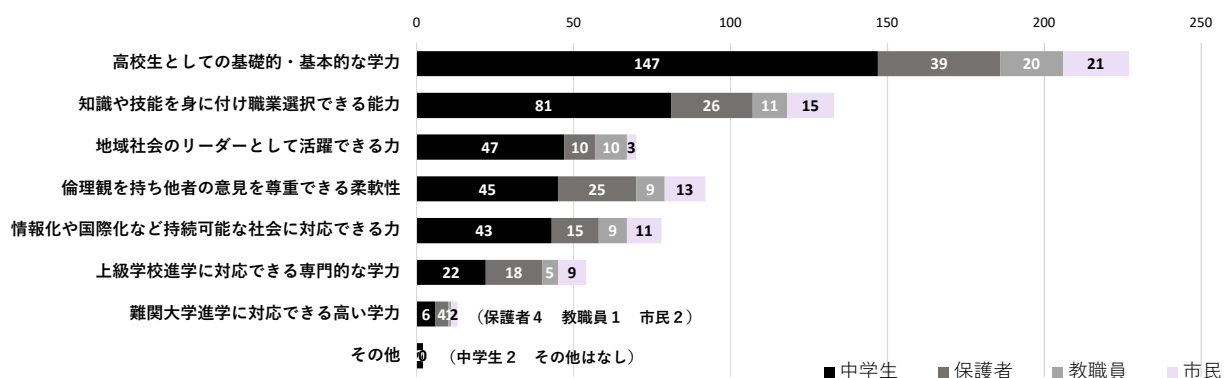
質問項目は、「9 砂川高校に対してどのようなイメージを持っているか教えてください。」とし、複数回答可とすることとしました。



中学生は「生徒が明るく楽しそうに学校生活を送っている」が最も多く、次に「生徒が仲良く学校生活を送っている」「よく分からない」の順。保護者は「よく分からない」の回答が62.9%を占め、次に「生徒が明るく楽しそうに学校生活を送っている」「生徒が仲良く学校生活を送っている」の順。なお、「よく分からない」の回答は中学生で33.1%だが、保護者が62.9%、市民が78.1%と高い回答となっている。本校への入学生や本校卒業生を子にもつと思われる方は複数回答が多かったが、その他の多くの保護者は「よく分からない」のみの回答であった。

10 砂川高校への期待について

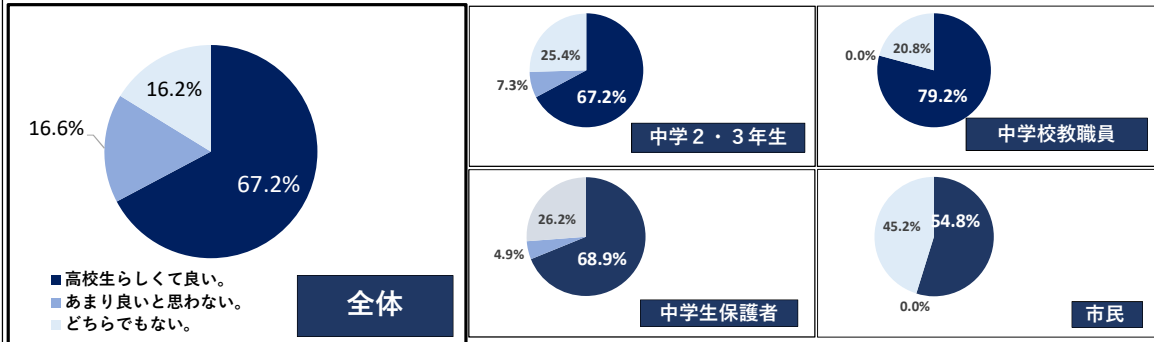
質問項目は、「10 砂川高校の教育に何を期待しますか教えてください。」とし、主なものを3つ回答することとしました。



全ての回答層において「高校生としての基礎的・基本的な学力」が最も多く、中学生の88.6%、保護者の62.9%、教職員の83.3%、市民の65.6%が回答している。次に多いのは、全ての回答層で「知識や技能を身に付け職業選択できる能力」。一方「上級学校進学に対応できる専門的な学力」や「難関大学進学に対応できる学力」の回答は少ない。その他の回答として、中学生から「大学受験のサポート体制」などがあげられていた。

1 1 砂川高校の制服の印象について

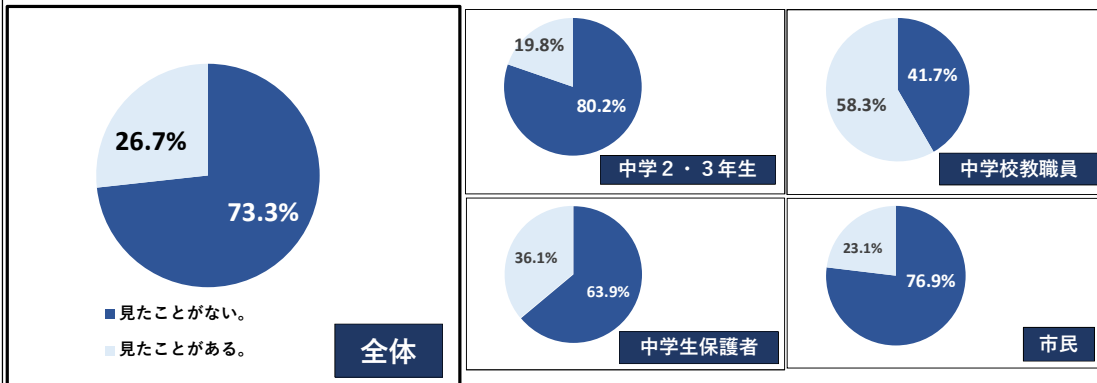
質問項目は、「1 1 砂川高校の制服に関する印象を教えてください。」とし、1つ選択し回答することとしました。



いずれの回答層も肯定的（「高校生らしくて良い」の）回答が多く、市民以外は7割近くの回答に達していた。

1 2 砂川高校のホームページについて

質問項目は、「1 2 砂川高校のホームページを見たことがあるかどうか教えてください。」とし、1つ選択し回答することとしました。



いずれの回答層も「見たことがない」の回答が多く、全体で73.3%、市民については8割近くが見たことがないと回答している。一方で中学校教職員は半数以上が「見たことがある」と回答していた。